



仕事

これからも、今までと変わらずに、和歌山のみなさんのためになるような弁護士としてやっていきたいと思っています。弁護士は、日々の仕事にきちんと対応していくこと、これが一番いいことだと思います。できるだけ長く弁護士として働いて、みなさまのお役に立ちたいと思っています。

あと、これからいろいろな AI が発達して世界全体が変わっていくでしょうし、一般の方の持っている情報がどんどん変わっていくと思いますので、それに対応していきたいと思っています。

基本的には一般民事は何でもさせてもらっているのですが、弁護士1年目の時に犯罪被害者の委員会に入ったことがきっかけで、「犯罪者支援」は他の先生に比べて少し多いのではと思います。



怒られた！？

担任は、数学の森田先生、平井先生、金谷（かなや）先生といらっしゃいましたが、中3の時の中川先生にはすごくお世話になりました。いい先生ばかり、恵まれていたと思います。

私は多分じゃなくて全然自立つ生徒ではなかったと思います。2015年に学校に行った時も、在学中ぜんぜん知らなかった、みたいなことを先生に言われましたね。

怒られたということではなかったのですが、みんなでお菓子を作って、お弁当の後に食べることが女の子の中で流行った時期がありました。お菓子を持ってくることは NG だったのですが、自分で作ったお菓子はお弁当と同じだという理由でやめませんでした。最終的には「自分で作ったお菓子でもいけません。」ってことになりましたが、今から考えると智慧を絞ったのですね。若かったので、



お菓子を食べたかった

のしよう。

琴

中5の時（？）、お琴の同好会に入部して文化祭で弾きました。高校の時はおもしろいな、くらいだったのですが、大学に進学してからこれまでずっと続けています。私の先生のところは、いわゆるお免状制となっています。助教とか、奥伝といった免状があるのですが、ひとつずつ進んできました。つい先日、（2022年）3月に「教授」のお免状をいただきました。教授の上の免状はないので、私が教えていただいている先生の中で一定以上のレベルになったということだと思います。

ずっと、お琴弾くのが好きだったこともあり、10年くらい前から三味線も始めました。琴の先生と同じ先生に習っているのですが、そういう和楽器が好きです。



弁護士

和歌山市出身
1982年1月生

2000年
智辯学園和歌山高等学校卒

京都大学法学部卒業後
2008年 司法試験合格
吹上法律事務所で活動中

和歌山市小松原通三丁目68番地
TEL 073-428-3818 FAX 073-428-0053

智辯学生のみなさまへ

勉強ばかりすることはしないかもしれないけれども、勉強して、知識とか考え方を身に付けるということは、自分が生きていく財産になると思っています。実際、自分がそうだったわけで、今できる勉強をしっかりやっておくということは、すごく大事だよ、と言いたいと思います。やれる時にちゃんとやりましょう！って。私も完璧にできたかというとそうではなかったと思いますが。。。。

社会情勢って予想以上に変わっているじゃないですか。例えば今回みたいに急に勃発した戦争のように。その時に知識がないと聞いたことに対して、「これってどういうことなのだろう」とて考えることができないと思いますし、人から聞いたことで流されてしまうこともあるかもしれません。その時に「自分で考えること」「知識を持っておく」ということは、どんな社会、これから変わっていく社会に、耐えられるというか、対応するというか、幸せに生きていけるひとつの手段だと思います。それは仕事に直接役立たなくてもいいと思うのです。



野球

私が中5か中6の時に、あのCのマークが始まりました。甲子園でよく聞かれるジョックロックも私が中5の時にできました。チアはしていましたが、野球の応援はとっても好きでした。中2から中6まで毎年、おそらく夏はずっと甲子園に応援に行きました。ラッキーというか、得難い経験をさせてもらいました。日本中探しても私たちほど6年間の在学中に甲子園に出場した年代はないのでは、と思います。中4の時には中谷監督が夏の大会で優勝したと思います。入学直前の春の大会でも優勝していたので、入学式の次のイベントが講堂での優勝祝賀会だったので、すごいなあって思ったことを鮮明に覚えています。



進学

小学校の時は東京に住んでいました。東京では、どの小学校でもクラスの3分の2くらいが受験します。和歌山に帰ることは予定していたので、その流れで智辯を受験しました。

大学は京都大学法学部に進学しました。司法試験は最初から目指していませんでしたが、法科大学院に進学して2回目で合格しました。法科大学院を卒業すると5年間で3回しか受験できない制度だったので、2回目はすごいプレッシャーでした。26歳で合格し、1年の研修を経て27歳で弁護士になりました。

上岡
みほ
うえおか
みほ

きのくに被害者センター 理事
和歌山県収用委員会 委員
2022年3月まで和歌山弁護士会副会長を務めた。

2009年に弁護士となり、和歌山弁護士会に所属弁護士会の犯罪被害者の委員会に所属したことをきっかけに、性暴力被害者の支援などに携わる。



講演

感謝祭で、弁護士の仕事について講演させていただきました。2015年11月のことです。2、3人の生徒の方から質問をいただいたのですが、ちゃんと聞いて、自分の頭で考えて、聞きたいことを聞いてくれたと感じました。それがすごくうれしかったです。質問内容は。。。忘れてしました（笑）ふんふんと聞き流すことは簡単だと思うのですが、でもそれを聞いて、自分でここがちょっとどうなのだろうって考えることができること、それは、勉強して身に付く財産だと思うので、智辯の生徒がそういうふうになっているということが大変うれしかったです。

通学

在学中は、自転車通学していました。学校まで30分くらいだったと思います。学校の近くの交差点でいつも高嶋監督が立っていて、交差点の信号が赤の時に渡らないように見張ってくれていました。信号が青になったらピーって笛を吹いてくれて、道路を渡るって感じでした。運動は今は全くしていません、もうびっくりするくらい。今、自転車で行けって言わされたら途中でへとへとなると思います。運動神経はよくなかったと思いますが、友人たちと一緒に自転車を爆速で帰る、そんなことがすごく楽しかったです。